

報道提供資料

PRESS RELEASE



令和6年度 市政運営方針・予算案の概要

令和6年2月8日（木）

令和6年度 市政運営の基本方針

物価高騰への対応に的確に取り組みつつ、「安全・安心・環境」、「子ども・子育て」、「健康・福祉」、「魅力・活力」、「2025年大阪・関西万博」を市政運営の5つの重要ポイントとして位置づけ

○ 市民最優先の視点

「すべての市民に光があたり、選ばれるまち、住み続けたいまち八尾」の実現に向けて、市民が必要とする行政サービスを適切に提供できるよう、市民最優先の視点で各種取り組みを進めます。

○ 災害に強い安全・安心なまちづくり

近年多発する自然災害から、市民の生命及び財産を守り、被害を最小限に抑えるため、防災・減災体制のさらなる充実に努めるとともに、災害に強い安全・安心なまちづくりを進めます。

○ 物価高騰への対応

国・大阪府の動きとも歩調を合わせつつ、市民に最も身近な基礎自治体として、市民や事業者のニーズを踏まえた適切な支援を行います。

○ 八尾の成長

2025年大阪・関西万博の波及効果を「八尾の成長」につなげる取り組みを進めます。

○ 改革と成長の好循環

近隣自治体等との広域連携や、公民連携・公民協働による効果的・効率的な事業展開を進め、行政サービスのデジタル化など、行財政改革を着実に進め、「改革と成長の好循環」を力強く進めます。

令和6年度 当初予算の概要

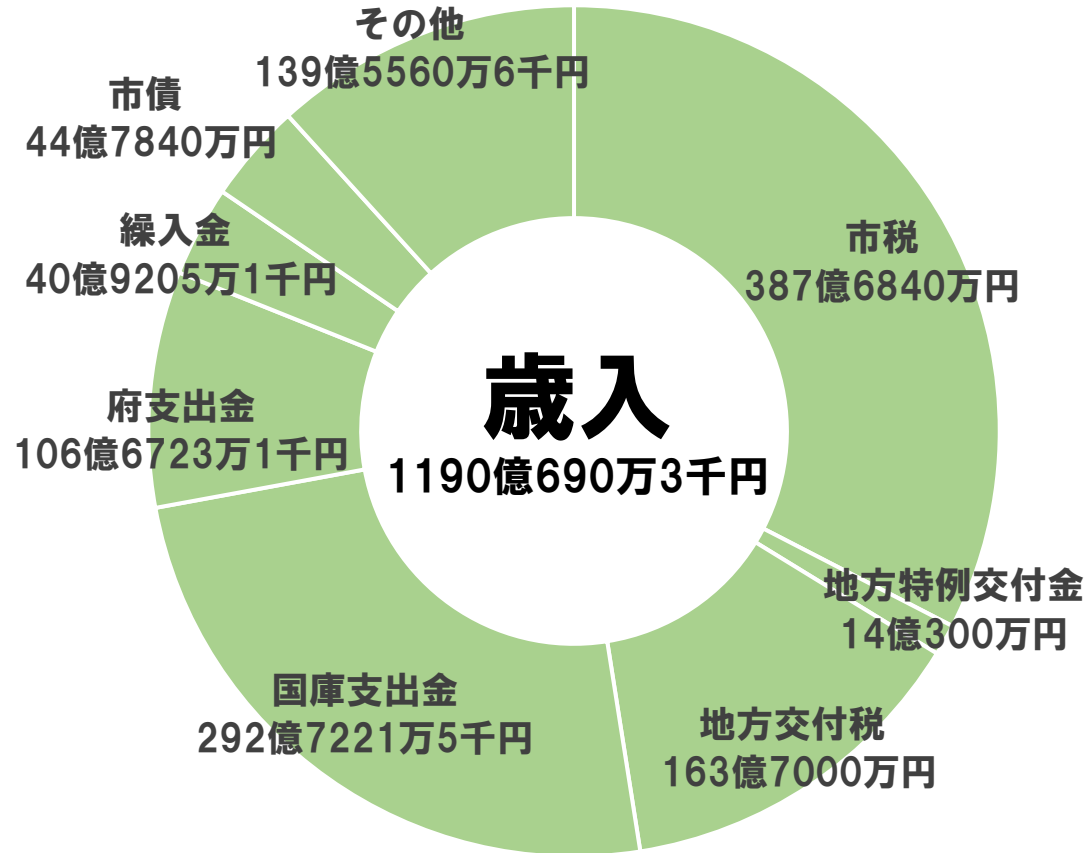
できる限り基金取り崩し額を抑制することとし、基金残高の確保や将来負担に注視しながら、引き続き質の高い行政サービスを提供し、持続可能な行財政運営のための財政基盤の確立をめざした予算編成を行いました。

一般会計	1190億 690万3千円
	対前年度比（R5.6月補正後） 3.3%減（40億2108万7千円の減）
特別会計	664億5007万3千円
	対前年度比（R5.6月補正後） 0.4%増（2億8135万6千円の増）
企業会計	473億3314万6千円
	対前年度比（R5.6月補正後） 2.9%増（13億2547万円の増）
全体合計	2327億9012万2千円
	対前年度比（R5.6月補正後） 1.0%減（24億1426万1千円の減）

令和6年度 当初予算額 歳入

令和6年度の歳入予算は、新型コロナウイルス感染症対策に関する国庫支出金で減少するとともに、事業充当市債の減少などにより、市債発行が減少する見込みです。

【対前年度比（R5.6月補正後）】

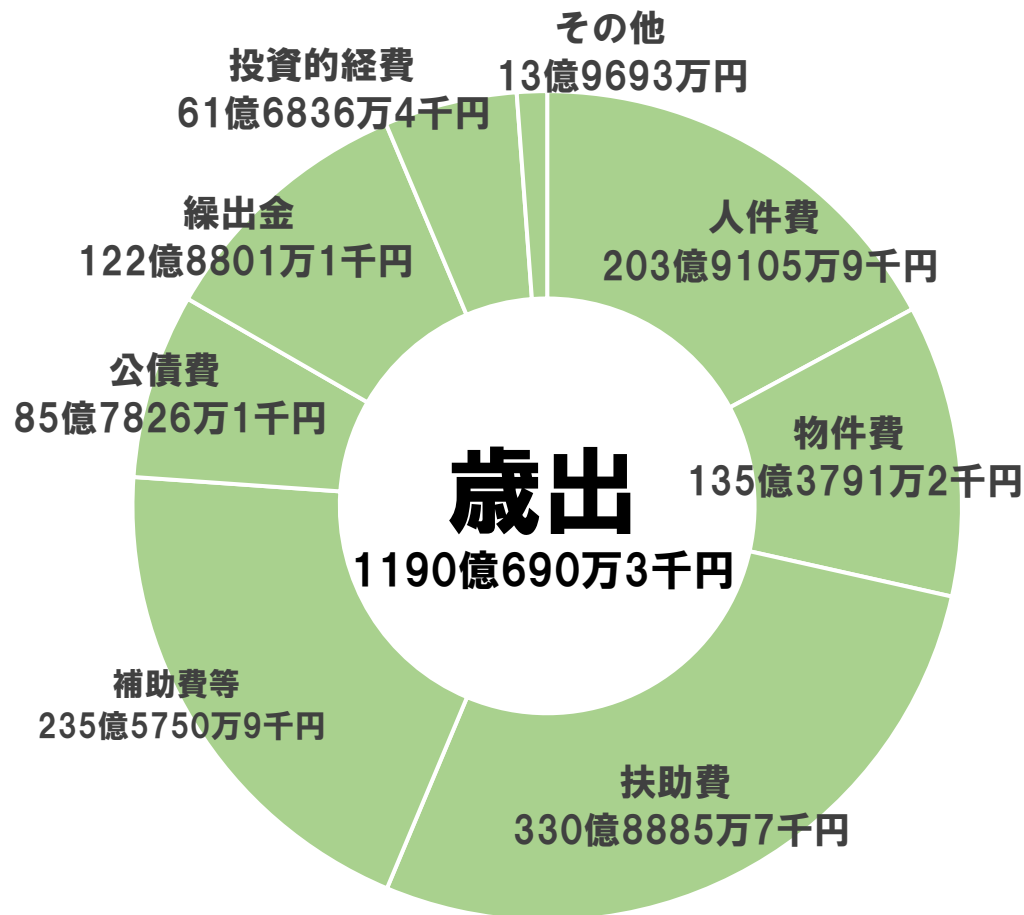


- 市税 2.3%減 (8億9957万3千円の減)
※個人市民税、法人市民税の減 など
- 地方特例交付金 330.4%増 (10億7700万円の増)
※定額減税減収補填特例交付金の皆増など
- 地方交付税 15.4%増 (21億8000万円の増)
- 国庫支出金 8.7%減 (27億8927万4千円の減)
※新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金、ワクチン接種対策費負担金の皆減 など
- 繰入金 31.4%減 (18億7221万9千円の減)
※財政調整基金繰入金の減 など
- 市債 24.8%減 (14億7700万円の減)
※臨時財政対策債、事業充当市債の減 など

令和6年度 当初予算額 歳出

令和6年度の歳出予算は、人件費や扶助費、繰出金で増加しているものの、感染症対策に係る物件費や、補助費等、投資的経費などが減となることから、総額で対前年度比減となりました。

【対前年度比（R5.6月補正後）】



- 物件費 8.4%減 (12億3659万5千円の減)
※感染症対策経費、新型コロナウイルスワクチン接種経費の減 など
- 扶助費 1.7%増 (5億5100万8千円の増)
※生活保護費、施設型給付費・施設等利用費の増 など
- 補助費等 6.8%減 (17億747万3千円の減)
※電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援給付金、病院事業会計繰出金の減 など
- 繰出金 3.2%増 (3億8648万7千円の増)
※後期高齢者医療事業特別会計繰出金の増 など
- 積立金 74.9%減 (15億3264万5千円の減)
※財政調整基金積立金、こども夢基金積立金の減 など
- 投資的経費 13.5%減 (9億6393万9千円の減)
※中学校全員給食施設整備事業費の皆減 など

令和6年度 第1号補正予算額

(主な取り組み)

- ・物価高騰による子育て世帯の経済的負担軽減を図るための小・中学校給食費無償化に必要な予算
- ・2025年大阪・関西万博を契機に本市の魅力を国内外に発信し、「八尾の成長」につなげる取り組みに必要な予算

一般会計 **15億5747万6千円**

令和6年度 市政運営方針 重点取り組み
5つの重要ポイント

地域防災力の向上を図る体制づくりへの支援

地域における防災力の向上を図るため、地域の特性や想定される災害を踏まえて、地域住民が主体となって取り組む地区防災計画の策定に向けた支援を行うとともに、災害時に、避難行動要支援者が速やかに避難できるよう、地域の体制づくりを支援します。

関 連
予 算

地区防災推進事業

658万3千円

災害時要配慮者支援事業

1396万2千円

問合せ

危機管理課

072-924-9870

健康福祉部 高齢介護課

072-924-3854

消防本部庁舎の移転建替えや消防署所の新設等に向けた取り組みの推進

消防力の強化を図るため、引き続き、本市の防災中枢拠点の一つである消防本部庁舎の移転建替えを進めるとともに、市域南西部及び南東部における消防署所の移転建替えや新設に向けた取り組みを行い、市域全域を網羅するバランスの取れた消防署所の配置と人員体制の充実を進めます。

関 連
予 算

消防庁舎機能更新事業

1億4774万7千円

問合せ

消防本部 消防総務課
072-992-2104

犯罪被害者等に寄り添った支援

犯罪被害者等に寄り添った迅速な支援を進めるため、犯罪被害者等支援条例を制定し、見舞金の支給や各種相談への対応等に取り組みます。

関 連
予 算

防犯計画推進事業

5071万円

問合せ

危機管理課

072-924-3817

脱炭素型まちづくり（ゼロカーボンシティやお）の推進

脱炭素社会の実現に向けて、国の地域脱炭素移行・再エネ推進交付金を活用し、自家消費型の太陽光発電やLED照明等の脱炭素に資する設備等に対する助成を行うとともに、公共施設のZEB（ネット・ゼロ・エネルギー・ビル）化に向けた取り組みを進めます。

関 連
予 算

ゼロカーボンシティやお推進事業

2億5461万3千円

問合せ

環境部 環境保全課
072-924-9359

妊産婦、子育て世帯、子どもへの切れ目のない支援体制の充実

すべての妊産婦、子育て世帯、子どもへ一体的な支援を提供するため、令和6年4月施行の児童福祉法改正により創設された「市町村こども家庭センター」として、母子保健と児童福祉をこども総合支援センター「ほっぷ」に統合する組織再編を行い、切れ目のない相談支援体制のさらなる充実を図ります。

関
連
予
算

妊産婦包括支援事業

4億3511万円

こども相談事業

5552万7千円

児童虐待対策事業

1137万1千円

いじめから子どもを守る八尾づくり推進事業

1940万5千円

いじめのない環境づくり推進事業

30万5千円

問合せ

こども若者部 こども総合支援課
072-924-3954

産後ケア施設利用料の引き下げ及び受入れ施設の拡大

安心して子育てができる環境整備を進めるため、産後の母親の心身のケアや育児をサポートする産後ケア事業の利用料を引き下げるとともに、受入れ施設の拡大を図ります。

関 連
予 算

妊産婦包括支援事業

4億3511万円（再掲）

問合せ

健康福祉部 健康推進課
072-993-8600

ヤングケアラーや児童虐待など、困難な状況にある子どもや子育て家庭への支援体制の充実

困難な状況にある子どもや子育て家庭を支援するため、家事・育児等に不安や負担を抱えた子育て家庭や、ヤングケアラー等がいる家庭への訪問支援を実施します。また、児童虐待など支援ニーズの高い子どもや子育て家庭が孤立することなく必要な支援につなげるため、食事の提供や学習支援等を通じた見守りを実施します。

関 連
予 算

こども相談事業

5 5 5 2万7千円（再掲）

児童虐待対策事業

1 1 3 7万1千円（再掲）

問合せ

こども若者部 こども総合支援課
072-924-3954

障がいのある子どもを早期支援につなぐ保育環境の充実

認定こども園等において、障がいのある子どもへの早期支援を進めるため、年度途中での随時受入れに対応するとともに、保育サポート受入れ人数を増加するなど、保育環境の充実を図ります。

関 連
予 算

障がい児保育サポート等利用調整事務

100万6千円

問合せ

こども若者部 保育・こども園課
072-924-9857

医療的ケア児の受入れ施設の拡大及び体制強化

医療的ケア児の保護者の離職防止を図るとともに、集団保育による子どもの健やかな成長を図るため、受入れ施設を拡大し、園での実施体制を強化するなど、保育を希望する医療的ケア児が安全・安心に過ごせる保育環境の整備を進めます。

関 連
予 算

障がい児保育支援事業（私立認定こども園等）

7億8929万3千円

問合せ

こども若者部 保育・こども園課
072-924-9857

病児保育の実施施設の増設

子どもが病気の際に、保護者が就労等により自宅での保育が困難な場合の保育ニーズに対応するため、病児を保育する施設を新規開設し、安心して子育てができる環境整備を進めます。

関 連
予 算

病児保育事業

1億7911万7千円

問合せ

こども若者部 保育・こども園課
072-924-9857

いじめ解消の仕組みの構築

すべての子どもをいじめから守るために、子どもを取り巻く様々な課題について一元的に対応するための組織再編を行うとともに、国の採択を受けた実証モデル事業での実績をもとに、学校外からのアプローチによるいじめ解消の仕組みを構築し、いじめ防止に向けた全市的な展開を進めます。

関 連
予 算

いじめから子どもを守る八尾づくり推進事業

1940万5千円（再掲）

いじめのない環境づくり推進事業

30万5千円（再掲）

問合せ

いじめから子どもを守る課
072-924-4008

不登校児童・生徒への支援の充実

様々な課題を抱える児童・生徒の早期発見・早期支援を進めるとともに、どこにもつなげていない児童・生徒を減らすため、教育相談コーディネーターサポーターの配置による校内教育支援ルームの充実など、学校内外の居場所づくりを進めます。

関 連
予 算

不登校児童生徒支援事業

569万円

問合せ

教育委員会事務局 教育センター
072-941-3365

「健康まちづくり科学センター」を中心とした健康寿命の 延伸に向けたまちづくりの推進

健康寿命の延伸に向けて、大学との共同研究の成果を実社会においても活用できるよう進めるとともに、健診・医療・介護等の利用が一定期間ない、健康状態不明の高齢者に対するアウトリーチを進め、市民一人ひとりの健康づくりにアプローチする取り組みにつなげます。また、「八尾市健康まちづくり共創協定」に基づき、学齢期や働く世代の健康課題の解決に向けた取り組みを進めます。

関 連
予 算

健康づくり推進事業

2146万2千円

問合せ

健康福祉部 健康まちづくり科学センター
072-994-0665

加齢性難聴者の補聴器購入費の助成

加齢等により聴力機能が低下した高齢者が、地域で健康に暮らし続けることができるよう、社会参加等を支援するため、補聴器購入にかかる費用の一部を助成します。

関 連
予 算

加齢性難聴者補聴器購入助成事業

101万7千円

問合せ

健康福祉部 高齢介護課
072-924-3837

精神疾患等により長期入院している方が、退院後に安心して地域で生活することができるよう、グループホームでの生活を体験できる機会・場を提供し、地域生活への移行に向けた支援に取り組みます。

関 連
予 算

地域生活支援体制推進事業

1 0 3 8 万 6 千 円

問合せ

健康福祉部 障がい福祉課
0 7 2 - 9 2 4 - 3 8 3 8

八尾市男女共同参画センター「すみれ」による女性活躍のための新たな寄り添い支援

女性が起業や就労、市民活動など社会で自分らしく活躍できるよう、参加者がつながる講座等の開催やいつでも気軽に立ち寄り、悩みや不安を話せる居場所づくりを進めるとともに、新たにアウトリーチ型の相談支援を実施します。

関 連
予 算

男女共同参画推進事業

1 8 1 7 万 6 千 円

問合せ

人権ふれあい部 人権政策課
072-924-3830

福万寺町市民運動広場にスケートボード場及び ドッグランを4月にオープン

市民が多目的に利用し楽しめる場所を提供するため、福万寺町市民運動広場南面にスケートボード場及びドッグランをオープンします。

関 連
予 算

体育施設管理運営業務

2億9827万2千円

問合せ

魅力創造部 文化・スポーツ振興課
072-924-3875

交通不便地の解消に向けて、「八尾市乗合タクシー」を本格運行している竹湊地域、実証運行中の大正・志紀・曙川・高安・南高安地域に続き、西郡地域における実証運行を開始します。

関 連
予 算

交通政策推進事業

1 9 3 5 万 6 千 円

問合せ

都市整備部 都市交通課
0 7 2 - 9 2 4 - 3 8 5 6

近鉄河内山本駅周辺の整備

駅周辺の安全性・利便性の向上及びにぎわい空間の創出に向けて、引き続き、河内山本駅踏切から五月橋交差点までの区間において、安全・安心・快適な歩行空間の確保などの道路整備を進めます。

関 連
予 算

近鉄河内山本駅周辺整備事業

1億4173万1千円

問合せ

都市整備部 都市基盤整備課
072-924-3982

国有地の有効活用を図るため、国、大阪府、大阪市等の関係機関と連携し、都市計画手法を活用した八尾市のまちづくりの方針を決定するなど、都市計画手続きを進めます。

関 連
予 算

国有地等有効活用検討事業

192万8千円

問合せ

都市整備部 都市政策課
072-924-3850

第1号補正予算関係

(小・中学校給食費の無償化、
2025年大阪・関西万博に向けた取り組み)

小・中学校給食費の無償化、 2025年大阪・関西万博に向けた取り組み

小・中学校給食費の無償化を1年間延長

物価高騰による子育て世帯の経済的負担軽減を図るため、小・中学校の給食費の無償化を1年間延長します。

2025年大阪・関西万博に向けた取り組み

2025年大阪・関西万博の開催を契機に、八尾の魅力を世界へ発信し、まちのにぎわいや活性化につながるように、万博への参画、参加に向けた取り組みや、子どもたちが万博を体験できる取り組みを進めます。

小・中学校給食費の無償化を1年間延長

物価高騰による子育て世帯の経済的な負担の軽減を図るため、小・中学校の給食費の無償化を1年間延長します。

関
連
予
算

小学校給食無償化経費

6億4845万2千円 (第1号補正予算)

中学校給食無償化経費

3億4606万円 (第1号補正予算)

問合せ

教育委員会事務局 学務給食課
072-924-3890

2025年大阪・関西万博への参画・参加・体験に向けた 取り組みの推進

万博開催を1年後に控え、市民・企業等の機運をさらに高めていくため、カウントダウンイベント等を実施するとともに、八尾の魅力ある地域資源を世界に発信し、まちのにぎわいや活性化につながるよう、博覧会協会等と連携し、万博への参画・参加に向けた取り組みを進めます。また、子どもたちが万博会場で未来社会を体験し、驚きや発見を通じて将来への夢が広がるよう、大阪府等と連携した取り組みを進めます。

関 連 予 算

やおプロモーション推進事業

オープンバージョン推進事業

観光魅力創造事業

芸術文化振興事業

農業啓発事業

7840万1千円

(第1号補正予算 万博関連事業の合計)

健康づくり推進事業

環境総合計画推進事業

姉妹友好都市交流事業

万博会場への子ども無料招待事業

問合せ

やおプロモーション・万博推進PT

072-924-4002

2025年大阪・関西万博への参画・参加・体験に向けた 取り組みの推進

事務事業名	取り組み内容	第1号補正 予算額
やおプロモーション推進事業	○ 八尾の魅力ある地域資源を世界に発信し、大阪・関西万博の波及効果を八尾の成長に活かせるよう、万博会場での催事参加に向け、大阪府や博覧会協会等と協議を進めるとともに、出展計画のとりまとめを行います。また、子どもたちが未来社会を体験するため、万博会場へ招待する取り組みを大阪府等と連携しながら進めます。さらに、「いのち輝く未来」への取り組みとして、万博会場において、八尾のローカルSDGs80(やお)アクションの展示や発表に向けた取り組みを進めます。	35,487千円
オープンイノベーション推進事業	○ 大阪ヘルスケアパビリオンにおけるリボンチャレンジ「まちこうばのエンターテイメント！～みせるばやおモデル～」の展示・出展に向け引き続き取り組むとともに、八尾の魅力ある地域資源を活かした八尾への誘客を図るため、万博会場において、高い技術力を持つものづくりの魅力を体験・体感する展示や発表に向けた取り組みを進めます。	20,593千円
観光魅力創造事業	○ 八尾の魅力ある地域資源を活かした八尾への誘客を図るため、万博会場において、本市の名品・特産品や市内の観光サービスの普及に向けた取り組みを進めます。また、道鏡と称徳天皇が歩んだ奈良時代を体験・体感するイベントの開催や、市内各地域の伝統的な祭りの荘厳さを会場に来られた方が体感し、後に八尾で本場の祭りを楽しんでもらえる仕掛けを施した展示や実演に向けた取り組みを進めます。	9,437千円
芸術文化振興事業	○ 八尾の魅力ある地域資源を活かした八尾への誘客を図るため、万博会場において、全国的にも広く知られる河内音頭の魅力をはじめ、本市ゆかりの伝統芸能や芸術文化活動を披露するほか、市民の万博会場での参加体験を未来のまちづくりにつなげるため、子どもたちの活発な吹奏楽等の文化活動の披露に向けた取り組みを進めます。	-
農業啓発事業	○ 八尾の魅力ある地域資源を活かした八尾への誘客を図るため、万博会場において、八尾えだまめなどの美味しい農産物の紹介・販売に向けた取り組みを進めます。	-
健康づくり推進事業	○ 「いのち輝く未来」への取り組みとして、大学との共同研究の成果を活用し、「みんなの健康をみんなで守る」という八尾の健康まちづくりの理念のもと、日本をはじめ世界中の課題となっている健康寿命の延伸について、万博会場において、体験できる展示や発表に向けた取り組みを進めます。	5,123千円
環境総合計画推進事業	○ 八尾の魅力ある地域資源を活かした八尾への誘客を図るため、万博会場において、河内木綿の歴史や文様などの魅力を体験を通じて紹介するとともに、本市の生態系や里山の保全などの展示に向けた取り組みを進めます。	1,810千円
姉妹友好都市交流事業	○ 姉妹都市・友好都市との市民間の交流が万博を契機に、より活発なものとなるよう、開催前及び会期中における相互往来を図り、万博会場で世界に発信する本市の産業や文化などの魅力を共有する取り組みを進めます。	4,160千円
万博会場への子ども無料招待事業	○ 子どもたちが未来社会を体験できるよう、万博会場へ招待する取り組みを大阪府等と連携しながら進めます。	1,791千円

「ものづくりのまち八尾」のブランド確立に向けた 取り組みの推進

大阪ヘルスケアパビリオンでの出展における波及効果を地域産業の成長につなげるため、「OPEN FACTORY CITY YAO」をスローガンに、出展企業等の共創環境を整え、国内外の多くの人々が興味・関心をもち、八尾を万博会場のサテライトとして、ものづくりの現場に足を運ぶ人が増え、交流が増える仕掛けづくりをします。

関 連
予 算

オープンイノベーション推進事業

3 3 2 1 万 2 千 円 (当初予算)

2 0 5 9 万 3 千 円 (再掲：第1号補正予算)

問合せ

魅力創造部 産業政策課
072-924-3845

デジタル観光コンテンツや「空飛ぶクルマ」を活かした にぎわいの創出

万博開催を契機に八尾市への誘客強化を図るため、令和5年度に構築したオンラインによる体験型観光コンテンツの試験的運用を開始します。また、万博で運航が計画されている近未来の乗り物「空飛ぶクルマ」を活かした取り組みを関係機関と連携し進めるとともに、八尾商工会議所等と連携し、八尾空港の魅力を活かした新たなにぎわい創出に向けた検討を進めます。

関 連
予 算

観光魅力創造事業

3397万1千円 (当初予算)

943万7千円 (再掲：第1号補正予算)

問合せ

魅力創造部 観光・文化財課
072-924-8555

未来社会のワクワク体験を 八尾の子どもたちに

～ 八尾の子どもたちを万博会場へ無料招待 ～

八尾の子どもたちが確実に、万博会場での体験から未来に向けて夢中になれるものを発見できるよう、大阪府の子ども招待事業と連携し、保護者負担を軽減するなどの取り組みを進めます。

総事業費(R6～R7)
143,791千円

令和6年度 1,791千円
令和7年度(債務負担) 142,000千円

対象者

(2025.4.1時点)

4～5歳児

小・中学生

高校生等

大阪府

【府下市町村共通】

○ 1日券

※交通費等は
保護者等が負担

○ 1日券 (学校行事)

※交通費等は
保護者等が負担

○ 1日券 (学校行事)

八尾市

独自の実施内容

保護者等の1日券

※子ども1名に対して同伴者1名分

万博会場への交通費

※市立小・中学校、義務教育学校の学校行事
※不登校児童・生徒の保護者等1名分の1日券
を配付

1日券 (2回目無料招待)



八尾市方式による無料招待



提供：2025年日本国際博覧会協会

